

各 位

2022年2月吉日
広島大学原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部

2021年度資料展示「赤レンガの医学資料館」のご案内

大寒のころ、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、下記の通り、広島大学医学部および原爆放射線医科学研究所(原医研)の所蔵資料をもとに、広島大学医学部医学資料館(以下、医学資料館)をテーマとする資料展示を開催いたします。

医学資料館は、医学部創立 30 周年を記念して設立されました。医学部が現在のキャンパスに完全に移ったのは 1957 年ですが、同館には、医学部や原医研などのものだけでなく、地元の医師の皆様、県や市の医師会などからも、江戸時代の医学古文書や近代以降の医学書、広島での医学記録など実に様々な種類の資料が多く託されています。医学資料館の英文表記が“*Institute of History of Medicine*”であることから、その気合がうかがえるでしょう。

また、日清戦争以降、霞キャンパス一帯は軍都広島を担う陸軍の兵器補給廠であり、原爆の際は救護所としても使われました。現在に残るこの赤レンガの建物は、原爆の様子を、そして原爆前の広島と原爆後のヒロシマの医学に取り組むものたちの営みをずっと見てきたと言えましょう。今回はその一端を、初公開資料を交えて展示いたします。

小さく、未熟な展示ではございますが、是非皆様のご来場を賜れば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。なお、何かございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

記

1. タイトル **赤レンガの医学資料館**: 陸軍兵器補給廠だった医学資料館で見る広島とヒロシマの医学史
2. 場所 広島大学医学部医学資料館(広島市南区)
3. 期間 **2022年2月21日(月)~3月23日(水)(予定)**
[時間]10:00~16:00 [休館]医学資料館に準ずる
※入場無料 完全事前予約制
※ご来場方法(予約方法)については、同封のフライヤーでご確認ください
※コロナ感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。
4. 協力 広島大学医学部
5. 共催 放射線災害・医科学研究拠点(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

[担当](担当教員:久保田明子)

広島大学 原爆放射線医科学研究所 附属被ばく資料調査解析部

〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3

赤レンガの 医学資料館



陸軍兵器補給廠だった
医学資料館で見る
広島とヒロシマの
医学史



[期間] 2022年 **2月21日** (月) ~ **3月23日** (水)

入場無料
事前予約制

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日閉館)

[会場]

**広島大学医学部
医学資料館**

広島大学霞キャンパス (大学病院前)

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点
(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

協力 広島大学医学部

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】新型コロナウイルスの感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。
あらかじめご了承ください。

【来場方法】事前予約制とさせていただきますので、お手数ですが、事前にQRコードか下記連絡先までご連絡ください。
【予約時の必要事項】①代表者のお名前 ②参観希望日時 ③人数 ④連絡先メールアドレス ⑤連絡先お電話番号

